

AF患者さんの Lifelong Support

2023年

10月**12**日(木)
19:00-20:00

**かかりつけ医が行うべき人生100年時代のAF診療！
出血リスクを考慮した抗血栓療法の極意**

**会場 佐野市医師会館
栃木県佐野市植上町1678**



座長

国立病院機構 京都医療センター 循環器内科 部長

赤尾 昌治 先生

講演 I

19:00-19:30

**循環器領域における出血マネジメント
～日本人・HBR を踏まえて**

AF合併虚血性心疾患患者の抗血栓療法を考える～



足利赤十字病院 副院長補佐 兼 心臓血管病センター部長

沼澤 洋平 先生

虚血性心疾患に対するPCI後の出血性合併症は稀ではなく、なお最重要課題の一つである。ステント留置後には抗血小板剤を内服する必要がある、さらに高齢化が進むにつれて心房細動の合併により抗凝固薬を併用する症例も増加している。本講演では出血リスクを考慮した上での抗血栓療法の実践についてまとめてみたい。

講演 II

19:30-20:00

**将来・生涯を見据えた抗凝固療法の展開
～高齢・超高齢心房細動の
出血リスクを包括的に再考する～**



遠賀中間医師会おんが病院 副院長 兼 循環器内科部長

吉田 哲郎 先生

人生100年時代のAF診療、これを実践するには出血リスクを考慮し、ライフステージを踏まえた抗凝固薬の選択が重要である。この出血リスクをマネジメントする課題をANAFIE Registry・ELDERCARE-AFから紐解きながら、将来・生涯を見据えた抗凝固療法について議論したい。

当日は、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。ご記帳いただきましたご施設名、ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

